

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2009.5.17 No.509 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

東京都と交渉

日本共産党あきる野市議団、たばた予定候補が



左から交渉する戸沢、山根市議、たばた予定候補、清水日本共産党都議。

山根、戸沢各市議 たばた予定候補

申し入れ主旨を説明

日本共産党市議団と予定候補は、市民アンケートなどに寄せられた市民要求を持って、四月二十三日には、たばた予定候補が、四月二十七日には山根、戸沢各市議、たばた予定候補が東京都に申し入れを行いました。

都は…
たばた予定候補に調査、検討を約束しました

都は…
「るのバス」は新しい路線なら補助対象となる

都は…
公立病院補助の見直しを行い検討したい



五日市小机坂を調査するたばたさん

「るのバス」医療センター阿伎留五日市の交通問題

都は「それぞれ用地買収中」だとか、「現地調査の上、検討します」と回答しました。

また南北道路の五日市線アンダーパス工事の問題でも、多くの人が参加できるように住民説明会をしたいと回答しました。

山根市議は、あきる野市は地形が東西に細長く、山間部も多く交通不便地域がたくさんあり、地域住民の強い要望で平成十二年に「るのバス」運行を始めたと言明しました。

九年経過し「るのバス」の利用者が発足当初より二倍になっていることを話し、台数を増やすために、都の助成金補助対象期間の延長と拡充を要望しました。

都は「今後、新しいコースを拡大する場合、バスが走っ



「るのバス」と山根議員

ていない空白地域が二分の一以上あれば新規の補助対象となると回答しました。

戸沢市議は、公立阿伎留医療センターの経営状況の悪化、医師不足にもなっている維持が極めて困難な状況を説明しました。

その上に立ち①公立病院運営費の補助の充実②二次救急医療に対する補助制度

の拡充③病院内保育所設置に特段の予算措置④医師確保に都の配慮⑤医師の待遇改善を要望しました。

都は「公立病院補助の見直しを行う。医師不足については医療政策の見落としが有った。病院同士の連携が必要だと考えている」と回答しました。



医療センターと戸沢議員

おいらしき

こどもくらし

たばた あずみ

父は鳥や虫、植物にくわしい人。母がよく名前を聞いてはわたしにも教えてくれましたが、わたしはあまり興味がありませんでした。興味が出たのは親元を離れてから。「あんな虫が」「こんな鳥が」と思うことで、つながっていたのかもしれない。

月日は流れて、さらに興味は増すばかり。図鑑をめくっては、この鳥を見てみたい、この虫を見てみたいとわくわく。気をつけて見ると、身近なところにいるんなものがあるものです。とてもおもしろい。

こどもたちはわたしのこども時代同様、ほとんど興味を持っていない様子。いつかおもしろいと思う日が来るのかしら。

(09.5.17)
連絡先は☎550-6674

野良望

◆本年1月に、日本共産党市議団が行ったアンケートに寄せられた声の中で一番多かったのが医療、介護の問題です。

◆病院から退院をせまられているが受け入れてくれる病院が見つからない。介護の問題では、例えば80代の妻が要介護認定を受けているのに、80代の同居している夫がいるとの理由で、お掃除や食事の支度、買い物などの生活支援サービスが受けられないなど、同居家族がいるという理由で必要なサービスが受けられない方がたくさんいます。

◆国の医療制度改革や、社会保障削減政策が医療、介護の現場に深刻な状況をもたらしています。

◆こうした国の悪政の元で、地方自治体として、住民の暮らしを守り、福祉の充実に取り組んでいくことが益々重要になっていきます。

◆高い介護保険料や、国民健康保険税の引き下げなどの公約がかかげ、6月の市議選で全力で頑張ります。

(山根)

6月7日投票・告示まであと20日 あきる野市議選必勝へ

笠井亮衆院議員が応援に

東急ストア前
5月10日夕

熱のこもった各弁士の話に、聴衆は、力強い拍手と声援でこれに応えました。

笠井衆院議員は、「総選挙を前にしたあきる野市議選は絶対には負けない。皆さんのご支持を日本共産党の三人へと熱く訴え、がっちり握った手を挙げての挨拶に聴衆が万雷の拍手で応えました。」

大型宣伝カーに三人の市議予定候補と、鈴木治衆院東京25区予定候補、笠井亮衆院議員が並び、約一時間、市政、国政について各弁士が話をしました。

二百人の聴衆がくり返す拍手、そして「がんばれよ」の声



あきる野市議選日本共産党3予定候補の行事

「たばた励まあつどい」 4月25日

増戸・山田会館



「山根事務所開き」 5月9日

清水外科東隣・テントも建てて



「戸沢事務所開き」 5月9日

事務所裏・安藤宅で



絵手紙／鈴木和子さん・入野在住

飛ぶ鳥に負けじと豚も名乗りである 西川昇
たまげたな核廃絶をアメリカが 松頼坊

“雇用を守れ”力強く！！

新緑の木々に囲まれた井の頭公園・西園会場には、昨年を上回る6800人が参加。舞台上を埋め尽くした青年など、大企業の解雇を許さず、働く権利を求めるエネルギーあふれたムービーとなりました。

あきる野からも9条の会や、新婦人、国民救援会などの旗が集い、戸沢・たばた両市議選予定候補には多くの人がから激励が寄せられていました。吉祥寺の繁華街を力強くデモ行進。

「熱かったけれど、さわやかだった。明日からも頑張る元気をもらえた」と女性の参加者が語っていました。



歴史探訪

第89回 地名考・野辺②



前田耕地跡

*前田耕地跡＝縄文期の住宅跡・遺物散布が見られた跡地

公園による小字名は十一ヶ所、変わった名として「出口」があります。普門寺駐車場から西方へ公民館通りまでの一帯です。小字としての「出口」は稀れにあり、港区に四ヶ所、立川市と八王子市に一ヶ所ずつあるといわれています。出口は入口の反対の意味ですが、地名として残るにはそれなりに重要な意味を持つ施設・用地があり、入口の反対側が地名として残ったものと考えられます。その囲まれた区画が何であったかが問題になりますが、例えば城豪族の居館・軍事用施設、或いは牧場、特殊な農産物の栽培などが挙げられます。野辺の「出口」は何であったのだろうか。古代の小川に「小川牧」があり、その出口がこの周辺であったと考えられるのが一つの理由。もう一つは中世の武将であった小川氏の居館・施設があり、その出口であった事も考えられます。小川に何らかの特殊な施設があったと推定すると、野辺の出口は西側の出口であり、普門寺東側から東南の地域、小川を含め一帯が一つの区画と考えられます。

寺中(ジチュウ)という小字もあります。東秋留駅から東南一帯の地域であり、鎌倉建長寺の末寺である神護山普門寺があります。寺中の文字で分かるように「普門寺の中」の意で、そのまま小字として残りま



（季語「開帳」）一定の期間にふだん開かない厨子を開き秘仏を見せる事を開帳といいます。特に春に多い事から季語を春としていて、他の場所に移動して拝観させる事を開帳といっています。

通ひ路の山菜黄の花今年また (るり子)

春惜しみ阿修羅の像にみつめらる (かほる)

合葬の亡夫の写真に二輪草 (富子)

記念樹の大樹となりぬ花吹雪 (静子)

春風や若き夫婦の島赴任 (勝代)

今日一ト日善男となり出開帳 (照代)

（秀治）

(続く)